

2-2-1 外観のデザインコンセプトと立面計画

■ 岐阜らしさを表現した外観計画

「岐阜らしさ」を喚起させる「長良川」「金華山」「岐阜の伝統文化の繊細さ」の3つのアイデンティティを、新庁舎のさまざまなデザインに取り入れ、岐阜から世界に情報発信する光の塔のような外観とします。

伝統文化を感じるデザイン

岐阜の伝統文化を感じさせる繊細なデザイン

岐阜の伝統工芸や伝統的なまちなみで見られる繊細な線の重なりをモチーフに、市民と職員の様々な活動が折り重なるようなステージを表現します。

岐阜らしい繊細な線の重なり

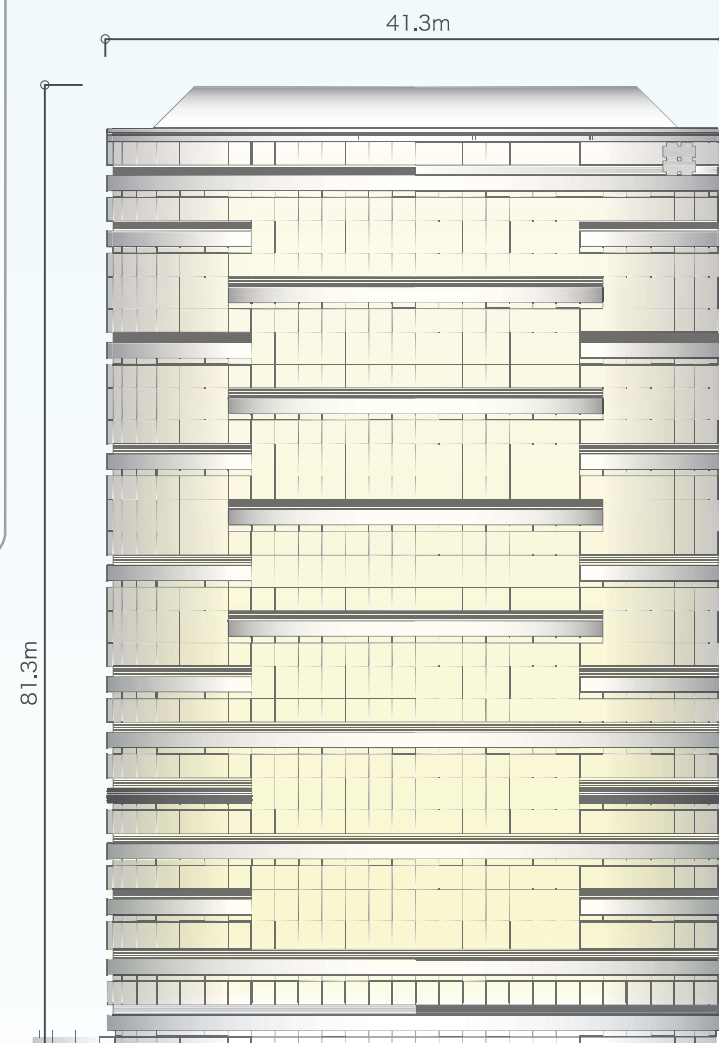


岐阜和傘

岐阜提灯

岐阜団扇

川原町のまちなみ

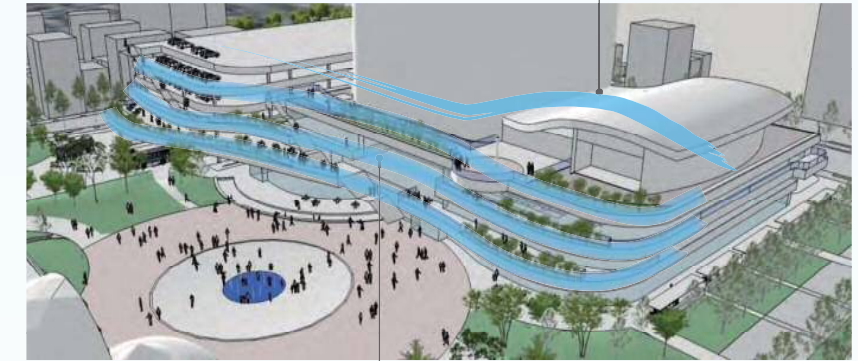


長良川の流線

長良川の水の美しさと雄大さを感じさせる流線

新庁舎は、柔らかな流線を用いた外形とすることで、長良川にそよぐ心地よい風や清らかな水の流れを喚起させ、周辺の景観と穏やかな調和を図ります。

長良川にそよぐ風を感じさせる流線形のデザイン



川の流線のようなやわらかな外形

金華山の緑

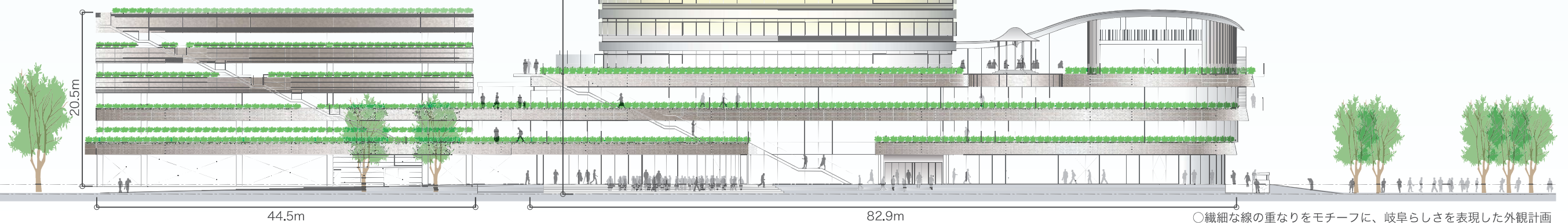
金華山の豊かな自然と安らぎを感じさせる緑

低層部は、隣接する「みんなの森 ぎふメディアコスモス」と高さを揃え、街区としての一体感を与えます。低層部の北側には「みどりの丘」となる段状のテラスを設け、「みんなの広場 カオカオ」に向けて親しみやすく、市民の憩いの場となる緑化を施します。

つかさのまちを見渡す『みどりの丘』



新庁舎と駐車場を一体的に緑でつなげる



○繊細な線の重なりをモチーフに、岐阜らしさを表現した外観計画